

「関電の原発 ウソがばれて停止するかもよ」

2月15日（土）午後2時～4時半ごろ

大阪市総合生涯学習センター（梅田・第2駅前ビル5階）

関西電力は、昨年10月、福井県に対し使用済み核燃料を県外に運び出すとする約束「使用済み燃料対策ロードマップ」を示しました。ところが、運び出す先の一つである六ヶ所再処理工場の操業開始が2年半延期され、1年も経たずに破綻。社長は福井県知事に見直したロードマップを今年度中に提示すると釈明しました。

福井県知事は、見直し後のロードマップが実効性のあるものでなければ、稼働開始から50年が経過した美浜3号炉など老朽3原発の運転を認めず、敷地内に使用済み燃料の貯蔵施設を増設することも認めないとしています。県外搬出というウソがばれた「敵失」とはいえ、原発を止める最大のチャンスが訪れているのです。

高浜原発は2027年頃、大飯原発は2028年頃、使用済み燃料の保管プールが満杯になると予想されています。関電は、ファン詰まり停止を回避できる実効性あるロードマップを示せるのか？ 福井県知事が簡単に実効性ありと認めてしまわないようにするにはどうすればいいのか？ 共に考えてみませんか！

カンパ：300円

問い合わせ：kakugomi@gol.com 又は090-5014-7168（山崎）